

戦前、戦中生まれのほとんどの県民が経済はゆっくりと停滞し、このまま対策を打たないと、この国は遅くとも10年先までには財政が破たんすると認識し財蓄に励む。県債残高8809億円(年間支払い利子約160億円)のうち、2471億円は臨時財政対策債「国が30年の分割払いで元本と金利を借金しておいて」があり、13年後完成の新幹線は県費負担も20〜30年払い。借金残高約500億円の農林水産支援センター、有利子約2億円。贅沢施設、県立音楽堂、年間3億円を超える補助を受けPR、理事役員の政治献金。国と同様、県民には目の通りにくい特別会計のもとで10数件以上の外郭団体、公益法人への補助金と一般会計からの持ち出しと口利きもある不透明な団体の職員の採用。将来を見据えた危機管理を、原発以上に怠ってはならない。子や孫に負担を先送りせず、高額基金と出資金の没収、受益者負担の原則など、あと30年現役世代の議員各位は活発な議論を期待する。

〈文責・稲井捨信〉

自民党県政会 24名の

誌 本 評 価

山本文雄(7期) 現世代を担う幹部の成長を願い、今ではあまりあれこれ言わず目付役の立場。

山本芳男(7期) 温厚実直、立場を心得マイペース。屋敷議員夫人とはいとこ関係。

関孝治(7期) 自由奔放。齒に衣を着せぬ発言には定評があり、決断が早い。後輩党役員への理解と気配りがある。

石川与三吉(5期) 敦賀原発1・2号機再稼働、3・4号機の増設、高速増殖炉「もんじゅ」と敦賀港、北陸新幹線

開通にそなえた敦賀駅の問題などを抱える敦賀市の県政への代弁者としてバリバリの現役で孤軍奮闘。

屋敷勇(5期) 高規格道路の委員長であるが、昨年の一般質問で何をどう言っているのか分からない質問に理事者も困惑したようで、頭が体調不良か。前期よりここ5年間は昔と違い政治的弱者には居留守も多く連絡もつけず目を向けない。山崎参院議員、西川知事など権力者の味方で、自らが経営する老健施設のこと

しか考えていない様子。選挙に勝っているが、なぜ昨年出馬したのか解らない。

前田康博(5期) 自民党県政。会長として先輩議員3名の信望もあり、山岸幹事長と共に原発再稼働、農政(TPP)、景気対策など課題が多い中でのチームリーダー。

山岸猛夫(4期) 幹事長として会長を補佐し、リーダーシップのあった小泉氏なきあと、後輩議員の指導と育成、監督的役割を担う。地元での支持基盤も盤石。

中川平一(4期) 間違いを起こさず、安全なサラリーマン議員。

田中敏幸(4期) なぜか遅咲きの議長であるが、よく学んで知識は豊富。地元では有権者に絶対的人気があり4期連続上位当選。人を押しつけてまで自分は前面に出ないタイプ。

斉藤新緑(4期) 人間が難しい。聞かんことは聞かん頑固



山本 文雄氏



山本 芳男氏



関 孝治氏



石川与三吉氏



屋敷 勇氏



前田 康博氏



山岸 猛夫氏



中川 平一氏



田中 敏幸氏



斉藤 新緑氏



吉田伊三郎氏



松井 拓夫氏

者。他人がいいことをすると、自分が寂しいのでひっかき回し、邪魔をする。

吉田伊三郎(3期) 美浜、若狭町切っぺの政治を任せられる人物。決断力、判断力、説得力の3拍子整い、県幹部や議会内での信望も厚く、目標をしっかりと定めてチームを作れる人。

松井拓夫(3期) 県内で最も

人間関係を重視する武生、勝山市。その勝山市の厳しい地盤の下で、市議会をばねに県議選で2回の激戦を勝ち抜き、修羅場をくぐり一段と成長。筋を通す所は通す。

松田泰典(3期) 先輩議員の「3期生の中でも松田議員をしっかりと教育してあげて」の言葉通り、強い行動力と発言力が望まれる。

谷出晴彦(3期) 地元はさらなる経済と商業の活性化に向け、大都市関西、中京圏とアジアの裏玄関口としての政治的役割が問われるなかで、心技はあっても、体調が万全でなく行動力には難あり。

笹岡一彦(3期) 自己理想は高く、意志が固い。世間ずれしていないが政治家としてのブレはない。今期中に議長か。

自民党県政会 24 名の本誌評価

田村康夫(3期) ホームページを通じ幾多の発信はしているが、議会人としての技量は今ひとつ。平日、昼間のゴルフ、夜の片町通いが気になる。**仲倉典克(3期)** 地元選挙区で5人中トップ当選を果たし、県政会中最も若い。自民党県連政調会長を務め、行動力、判断力に定評あり。将来の福井県を担う大器。

笠松泰夫(2期) 県政会24名の中で唯一県幹部出身だけに、行政全般に精通している力を会派内に伝達することが議会全体の強力な活性化のためにも必要。

大久保衛(2期) 地域活動家にしては地元全体に今ひとつ人気は薄い。議会内での悪評はあまり聞かえてこない。小誌には会話もなく縁がないので性格、政治力は判断しきれない。

大森哲男(2期) 屋敷、山本芳、前田氏の後継者として谷口氏辞職のあと県都福井を背

負える今後のリーダーとして社会経験を活かし、しっかりと目的を定めた行動を望む。**鈴木宏紀(2期)** 町議会も経験し、議会人としての知識は豊富、議会での一般質問、予特などでの発言は解り易い。今はやや控えめであるが、地元支持者の期待は大きく、次

代の大器。**田中宏典(2期)** 役場職員、町議会を経験し、いろんなことがあったと地元で聞くが、永らく大飯郡の県議選は見城氏、一瀬氏と無投票当選が続いていた。最初の補選で高浜議長、直後におおい町議長と争い、2度の激戦で信任を得て大きく成長。町民の約7割を占める原発に関わる生活者の立場に立って地元町議会の意見を吸収し県議会でしたっか

りした地元意見を発言し、会派内でもまじめで人柄もよいと評価されている。**小寺惣吉(1期)** 農業問題に精通し、会派内にも協力的でまじめ。**島田欽一(1期)** 町議会経験もありよく心得て発言し、会派内では折り目正しく、行動力もある。



谷出 晴彦氏



笹岡 一彦氏



松田 泰典氏



笠松 泰夫氏



仲倉 典克氏



田村 康夫氏



鈴木 宏紀氏



大森 哲男氏



大久保 衛氏



島田 欽一氏



小寺 惣吉氏



田中 宏典氏